

事業所名 こども発達LABO. Proリハ

支援プログラム (児童発達支援)

作成日 2025 年 1 月 17 日

法人(事業所)理念		子どもの福祉から始まるまちづくりを通して、地域共生社会を実現する。		
支援方針		適切なアセスメントを行い、日常生活上の課題に対して専門的に支援を行う。		
営業時間		8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動にて朝来所してから靴の着脱、靴箱への片付け、自分の荷物の片付け、必要物品の準備、荷物の整理、トイレへの誘導、下衣の着脱、水分補給等。 ・日常生活動作や活動の動作手順を絵カードで示し、子どもの特性に応じたモデリングやプロンプトを活用し自立につなげる支援する。 ・持参した食材での直接的な食事動作、食器や自助具の選定、更衣動作の評価、練習。 ・寝返りから起き上がり、座位保持、立ち上がり、立位保持、歩行、ハイハイ移動の基本動作の評価と練習。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・JPAN、JMAPをもとに姿勢、協調運動、行為機能の評価を行う。 ・粗大運動(マット活動やトランポリンやスイングなど)で姿勢の土台づくり。 ・道具操作につながる手先課題(おはじき送り、洗濯バサミ、ぬりえなど)を行い、日常生活や就学に向けた手の機能の土台づくり。 ・「～しながら～する。」といったマルチタスクを用いた活動。(姿勢保持しながら両手動作など、学校生活の机上時につながる) ・感覚プロフィールをもとに感覚特性を評価分析。 ・感覚特性を踏まえた環境調整や合理的配慮についての具体的な方法の提案。 ・色々な遊びや活動を行い、体の多様な動きを経験する。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・太田ステージに沿った認知課題の提供。生活年齢ではなく発達検査をもとに認知課題を提供。 ・視覚構造化により、自立に向けた日常生活や集団活動の概念を育む支援。 ・応行動分析をもとに、日常の問題行動の対応を支援。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・PECSを用いた理解と表出コミュニケーションの支援。 ・遊びを通してコミュニケーションの土台をはぐくむ。 ・オノマトペ、手遊び、音声模倣、ごっこ遊びでの支援者とのやり取り等言語コミュニケーションを支援。 ・読み書きにつながる評価と分析。 ・本人の特性にそった文房具や自助具の選定。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団療育での朝の会にて、話している人への注目の促し、個別に配慮した参加の具体的な支援。 ・活動の合間座る、言葉での交渉、友達と協力する経験、勝ち負け、ルール理解の促し。 ・設定した場面での「かして」「どうぞ」などの貸し借り、自由時間での友達やスタッフとのやり取りを促す。 ・絵カードや音での提示で活動の見通しをもち、待つ時間、片付け、おしまいの切り替えを支援。 ・お金の計算・買い物ごっこ・人と交渉する経験のできる活動の提供。 		
家族支援	子どもの成長の見るべきポイントなどを具体的にアドバイスする。 その日の療育内容の目的の説明と出来るようになったことを簡潔に伝える。 対象児童と兄弟児合わせて子育て全般の悩み・不安などを傾聴する。 お子さんの感覚の特性などをお伝えし、特性についての理解を促す。	移行支援	就学などに向けて、本人の特性を整理し、移行先の機関と連携を行う。本人が移行先で過ごしやすくなるように進めていく。	
地域支援・地域連携	園や子育て支援拠点での連携を行い、療育での様子や関り、特性について共有する。	職員の質の向上	毎回の療育の振り返り、新人研修、法人内研修(虐待防止・身体拘束等適正化研修、感染症対策研修等)、研修動画の視聴、外部研修への参加。必要に応じて症例検討を実施。	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏→傘、花火の製作活動、疑似そうめん流し。 ・秋→お月見、ハロウィンの製作活動。 ・冬→クリスマスの製作活動、積雪の日は室内で雪に触れる遊び。 			